



【シンポジウム】

NGOと企業の連携推進に向けて
「SDGsを測る」～Goal13：気候変動の情報開示を事例に～

誰一人取り残さない SDGs 達成の鍵を握る、マルチセクター間連携。効果的な連携のためには、共通の目標を定め、活動を評価する指標や仕組みが必要です。しかし現状、統計データは不足する一方で評価値や社会インパクト評価フレームは様々な種類が存在しどれを使ったらよいかわからないなど、「SDGsを測る」ための共通理解が進んでいません。このため、多くの NGO、企業は自組織の中では SDGs 達成に向けた議論を進めているものの、連携に向けた具体的な動きはまだ少ない状態です。

本シンポジウムでは、SDGs ゴール13である気候変動を事例とし、政府・ビジネス・市民社会それぞれの視点から、共通目標の設定、活動の測定・評価、情報開示に向けた取り組みを学びます。また、マルチセクターの連携を促進していくために必要なことについても議論します。

来場者のみなさまにとって、自らの所属する団体や企業で進める SDGs の活動における評価測定や情報開示について、マルチセクターの視点を通して改めて考え、業界や組織の枠を超えて共に実効性あるアクションを起こすためのヒントが得られる機会となるようなシンポジウムをめざします。

1. 概要

- タイトル： NGOと企業の連携推進に向けて「SDGsを測る」～Goal:13 気候変動を事例に～
- 開催日時： 2018年10月24日(水) 10時～12時30分
- 場所： DEJIMA (東京都品川区東五反田 2-10-2 東五反田スクエア 13F)
- 対象： 企業および NGO、自治体、労働組合関係者、一般、学生等
- 定員： 100名
- 参加費： 会員：企業 3,000円/NGO2,000円、非会員：5,000円
- 主催： (特活)国際協力 NGO センター(JANIC)/NGOと企業の連携推進ネットワーク
- 後援： 一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ)、一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク

2. プログラム案[計約 150分(名刺交換タイム含まず)] (御登壇候補者を以下に記載)

I 開会挨拶		
15分	岡本 三成氏 衆議院議員/元・外務大臣政務官(調整中)	
II 趣旨説明		
5分	コアメンバー NGOと企業の連携推進ネットワーク	
III 官民連携について テーマ:気候変動・環境経営		
30分	亀井 明紀氏 METI 産業技術環境局 環境経済室長	気候変動への今後の国内政策、気候関連財務開示タスクフォース(TCFD)を受け(仮題)
30分	下野 隆二氏 パナソニック株式会社 品質・環境本部環境経営推進部環境渉外室	投資家とのコミュニケーションによるESG評価向上の取り組みについて
30分	田辺 有輝氏 FairFinanceGuide Japan 兼「環境・持続社会」研究センター(JACSES)	大手銀行・保険会社の投融資方針の社会性格付けの取り組みについて
IV ディスカッションタイム(質疑応答もしくは講演内容について登壇者ディスカッションタイム)		
10~30分	登壇者 + 進行:連携ネットコアメンバー	マルチセクター連携に向けて必要なこと
V 閉会あいさつ		
5分	コアメンバー NGOと企業の連携推進ネットワーク	
VI 名刺交換タイム(終了後 15分程を予定)		

3. 申込フォーム：<https://goo.gl/forms/FCsvzLxG2zVQt6q32>

もしくは、csr@janic.org [JANIC 大田原]までメールお願いします (本文記載事項：氏名、フリガナ、所属組織、所属部署、自社/団体が取り組む SDGs ゴール上位3つ)



登壇者プロフィール（予定登壇順）

亀井 明紀（かめい あきのり）氏

経済産業省 産業技術環境局 環境経済室長

1973年生まれ、東京大学経済学部卒業、1997年 通商産業省（現経済産業省）入省（工業技術院総務課）、法務省民事局参事官室、経済産業政策局競争環境整備室室長補佐、商務流通保安グループ政策企画委員、富山県観光・地域振興局長などを経て現職。

下野 隆二（しもの りゅうじ）氏

パナソニック株式会社 品質・環境本部 環境経営推進部 ユニットリーダー

1967年生まれ、早稲田大学社会科学部卒業。1991年松下電器産業（当時）入社、電材営業本部にて約10年間営業活動に従事。その後、アクティブシニア向け新規事業開発を経てパナソニックグループの総合情報受発信拠点であるパナソニックセンター東京に勤務。パナソニックセンター東京では、一般消費者向けであるホームアプライアンス館 館長、理科と数学をテーマにしたサイエンスミュージアム リスーピア館長を歴任。直近は、環境部門において環境コミュニケーション全般を担当している。

田辺 有輝（たなべ ゆうき）氏

FairFinanceGuide Japan 兼 「環境・持続社会」研究センター（JACSES）プログラムディレクター

2003年より（特活）「環境・持続社会」研究センター（JACSES）職員として、開発金融における環境社会配慮に関する調査・政策提言に従事。2014年よりFair Finance Guide Japanを設立し、以降、コーディネーターを担う。外務省開発協力適正会議委員、JICA 環境社会配慮助言委員会委員、ジェトロ環境社会配慮助言委員会委員なども務める。共著で『NGOから見た世界銀行』（ミネルヴァ書房）、『3/11後の日本とアジア—震災から見えてきたもの』（早稲田大学アジア研究機構）、『おカネで世界を変える30の方法』（合同出版）等。